

これが 公民館報

第304号

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

四賀の世帯数・人口

世帯数	1,938	世帯
人口	4,754	人
男	2,300	人
女	2,454	人

(平成28年5月1日現在)

地域づくりは 市民との「共創」と「地域の絆」



四賀地区地域づくりセンター長(四賀支所長) 内山 博司

四月一日から前川窪センター長の後を引き継いで四賀地区地域づくりセンター長(四賀支所長)としてお世話になることになりました内山博司です。どうぞよろしくお願いたします。

松本市は超少子高齢型人口減少社会におけるまちづくりの都市戦略として「健康寿命延伸都市・松本」の創造を掲げ、「6つの健康」をまちづくりの基本目標としています。この目標は「健康」を「より良い状態を保つこと」と捉え、「人の健康」を基礎として、「生活」「地域」「環境」「経済」「教育・文化」という6つの健康の実現を目指して様々な事業に取り組んでいます。また、「介護には無縁で、健康で自立した、多くの皆さんがいきいきと生活している

まち」・「赤ちゃんからお年寄りまでが健康で自立して、明るく元気に過ごせるまち」を築くための創造プログラムを進めております。

次に、地域づくりに目を向けてみますと、地域づくりを進めるには、時間と労力が必要で、一朝一夕では進まないと思いますが、地域力向上のため、お互い助け合い、学び合い、安心して暮らせる持続可能な地区を、主役である市民と行政との協働で作ります。地域との信頼関係を構築しながら、市民の皆様との「共創」により進めていくことが大切と考えております。

四賀地区の公民館活動も地域の学習の場や親睦交流を目的として、様々な行事を開催しております。今後はさらに「地域の絆」が重要となつてきますので、今まで以上に皆様の主体的な参加や地域づくりに対するご意見や事業推進にご協力をお願いいたします。

微力ではありますが、四賀地区の地域づくりのために全力を尽くす所存でありますので、皆様方の力強いご指導、ご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます。



殿村遺跡

第7次発掘報告会開催

当日は、中世考古学が専門の小野正敏先生の「発掘された武家の権威と文化」と題した講演がありました。殿村遺跡の今後の展開について期待されるお話をしました。

この五月からは「虚空蔵山城」の調査が再開されます。会田氏の戦いの日々があった場所。兵士は日常どんな暮らしをしていたのか、戦の時はどんな戦い振りだったのでしょうか。麓から見上げる虚空蔵山に狼煙が上がり、様々な人々が活躍し、そして倒れていった時代。発掘によって歴史の解明が望まれるところでもあります。会田小次郎はどんな人だったのでしょうか。興味は尽きません。

三月二十六日、松本市教育委員会主催の「殿村遺跡第7次発掘報告会」が開催されました。今回は「長安寺本堂(江戸時代建立)跡の発掘から室町時代の造成跡の発見」と「第1次で発掘された旧会田中学校の殿村遺跡の南西部発掘」の報告がありました。特に長安寺跡地の発掘では、室町時代の地層から様々な出土品が見つかり、盛土や礎石、柱穴から、明らかに小さな建物が存在したことが分かりました。生活感が感じられる炉の跡、炭、庭池跡、そこから発見された鏡と生活道具ではない瀬戸の天目茶碗、中国産の茶道具、大皿、硯などが発見されました。



殿村遺跡からほど近いこの場所に住んでいたのでしょか。

平成 28 年度 町会長・町内公民館長・体育部長名簿

Table with columns: 町会名, 町会長, 備考, 公民館長, 備考, 体育部長, 備考. Lists names and roles for various town associations.

四賀公民館委員

公民館事業の企画立案・運営をしていただく、四賀公民館委員の皆さんを紹介いたします。

- ◆運営委員会
◎大澤好市 ◎両角民雄
佐々木清夫 市川明仁
中嶋 博 竹内哲夫
山岸 忍 瀧澤正行
小林敦夫 山岸勝子

職員紹介

四賀地区地域（N）センター

- センター長 内山 博司
課長補佐 増田 香
主任 藤森一孝
嘱託 久保田洋子
嘱託 宮坂真裕美
嘱託 金子美津代
臨時職員 海野寿子

農政課

生産振興担当 四賀農林担当

- 課長補佐 青木美伸
主査 降旗 優
主査補 佐藤和彦
嘱託 板花 凌
維持課管理担当 地籍調査
課長補佐 堀内 勉
主任 野口文次郎
嘱託 中田将之

四賀公民館

館長 百瀬光男

- 公民館主事 小宮山秀樹
臨時職員 岡村亜香利

体育委員会

- 市川明仁 ◎麻生仁志
両角民雄 小林敦夫
金子正夫 金子孝彦
和田敏昭 瀧澤長子

文化委員会

- ◎佐々木清夫 ◎齋藤一徳
瀧澤長子 瀧澤正行
竹内政恵 横内怜子
山岸勝子 小林雅子
両角民雄 三箇信五
金子政利 山岸 忍

図書視聴覚委員会

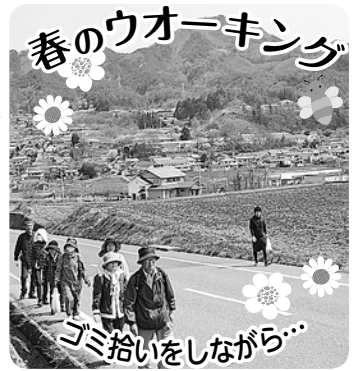
- ◎竹内哲夫 ◎山田光子
丸山 静 坪田芳子
本木智恵子 関口秀徳

健康づくり課

- 北部保健センター（四賀担当）
保健師 清本 悠

特別調査研究員

- 丸山裕也



春のウォーキング

桜の花が満開の四月十八日、春のウォーキングが開催、四賀支所スタートで、二班に分かれ、沿道のゴミ拾いをしながら歩きます。
私は板場より取出口コースに参加し、横内文人さんによる植物の話の聞きながら進みます。日本タンポポと西洋タンポポの違いの説明は面白く、思わず日本タンポポを応援！
ゴミは少なかつたのですが、タバコの吸い殻があちこちにありました。
春空に聳える虚空蔵山。やさしい気持ちでのんびり里山に歩を進めました。

四賀地区担当 清本 悠 保健師
四賀支所にいます！
6月6日(月) P.M.1:00~3:00
7月6日(水) P.M.1:00~3:00
お気軽にご相談ください

湧き水
▼インバウンド（外国人が訪れる旅行）という言葉が知られるようになった。2012年頃から円安とビザ緩和による訪日旅行者が増え、2016年には、2千万人の訪日旅行者が見込まれており、中国人観光客による爆買もニュースになって久しい。
▼東京オリンピックで注目され、外国人誘致の甲斐もあり、松本市にも去年は10万人以上の外国人が来た。
▼そして、今、地方がブームだという。大都会の街に慣れた外国人が、日本らしい田舎を求めて、田舎を散策する。
▼ここで、日本らしい田舎といえば、松本の奥座敷・四賀である。のどかな田園風景の広がる山あいの村である。
▼外国人が好みそうな神社仏閣、遺跡もあるし、昔ながらの家もある。もしかしたら、四賀に多くの外国人がやってくるようになるかもしれない。
▼ハロー、ニーハオ、アンニョンハセヨ、ボンジュール、ボンジュール、グーテントーク……皆さんの「こんにちは」が四賀に飛び交う日も近いかもしれない。